



サイレントピアノ

SILENT *Piano*<sup>TM</sup>

S D シリーズ



取扱説明書

## 安全上のご注意

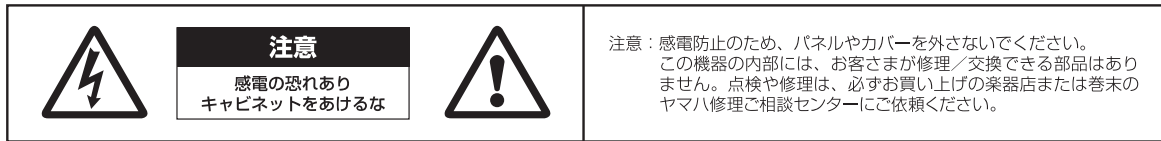
ここに示した注意事項は、製品を正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。



注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると、生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願い致します。

### 記号表示について

この機器に表示されている記号や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



△記号は、危険、警告または注意を示します。上記の場合、は機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。また、は注意が必要なことを示しています。

⊘記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

●記号は、行為を強制または指示することを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

※ お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



## 警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



本機の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は、必ずお買い上げ店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など、湿気の多いところで使用しない。また、本機の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。



使用中に電子音が出なくなったり、異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げ店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



電源は必ず交流 100V を使用する。

エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターは必ず指定のものを使用する。

指定以外の電源アダプターを使用すると発熱や火災、または故障の原因になります。



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。



電源プラグにホコリが付着している場合は、ホコリをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。


















本機の内部に異物や液体が入った場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げ店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



## 注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

-  電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものを乗せない。  
電源コードが破損して、感電や火災の原因になります。
-  電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。  
電源コードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。
-  タコ足配線をしない。  
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱したりすることがあります。
-  電源コードやプラグが傷んだときは使用しない。また、長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。  
感電、ショート、発火などの原因になります。
-  他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切ったうえで行う。また、電源を入れたり切ったりするまえに、必ず機器のボリュームを最小（0）にする。  
感電または機器の損傷のおそれがあります。
-  直射日光のあたる場所や暖房器具の近くなど、極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またホコリや振動の多いところで使用しない。  
外装が変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。
-  テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。  
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
-  不安定な場所に置かない。  
機器が転倒して故障したり、お客様がケガをしったりする原因になります。
-  本機を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外したうえで行う。  
コードを傷めたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。
-  本機を移動するときは、引きずらない。  
床を傷つけるおそれがあります。
-  本機を移動するときは、手や足を挟まないようにする。  
ケガをするおそれがあります。
-  本機を使用しないときは、鍵盤蓋を閉める。鍵盤蓋の開閉は、両手で静かに行う。また、お客様や周りの方が、不用意に鍵盤蓋に触れないようにする。  
鍵盤蓋に手や指を挟み、ケガをするおそれがあります。
-  地震のときは、本機から離れる。  
地震による強い揺れで本機が動いたり転倒したりして、ケガをするおそれがあります。
-  本機の上に乗ったり、重いものを乗せたりしない。また、スイッチやツマミ、入出力端子などに無理な力を加えない。  
本機が破損する原因になります。
-  大きな音量で長時間使用しない。  
聴覚傷害の原因になります。特に、ヘッドフォンを使用する場合や、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用する場合は、大音量になりやすいためご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じたら、専門の医師にご相談ください。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証は致しかねます。

長時間使用しないときは、必ず電源を切りましょう。

## 目次

付属品 .....	4	DDE (ダイナミック・ダンパー・エフェクト) をかける .....	8
設置について .....	4	すべての設定を工場出荷時の値に戻す (オールリセット) .....	8
各部の名称 .....	4	故障かな?と思ったら .....	9
ヘッドフォンハンガーの取り付け .....	5	仕様 .....	9
ACアダプターの接続 .....	5	取り扱いについて .....	10
消音演奏をする .....	6	保証とサービスについて .....	11
リバーブをかける .....	7		
ピッチを合わせる .....	7		

## 付属品

以下の付属品がお手元にあることをご確認ください。

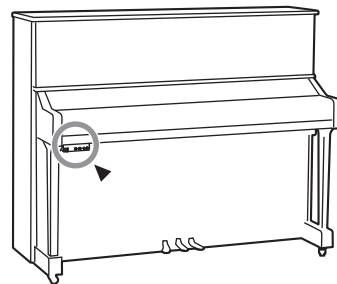
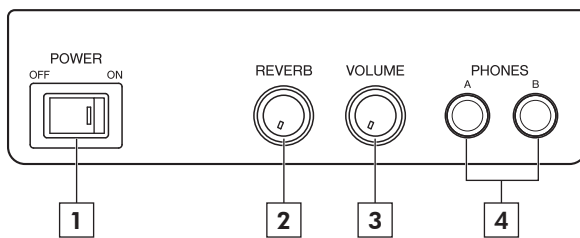
・ AC アダプター (PA-5D または PA-150)	1 個	・ ヘッドフォンハンガー取り付けネジ	2 個
・ ヘッドフォン	1 本	・ 取扱説明書 (本書)	1 冊
・ ヘッドフォンハンガー	1 個	・ 保証書	1 枚

## 設置について

- ・ 直射日光の当たる場所、暖房機器のそばなど高温な場所、高湿な場所は避けてください。
- ・ ホコリの多い場所は避けてください。
- ・ 煙、スプレーなどがかからないようにご使用ください。
- ・ AC アダプターは必ず指定のものをご使用ください。指定以外の AC アダプターを使用すると発熱や火災、または故障の原因になります。

## 各部の名称

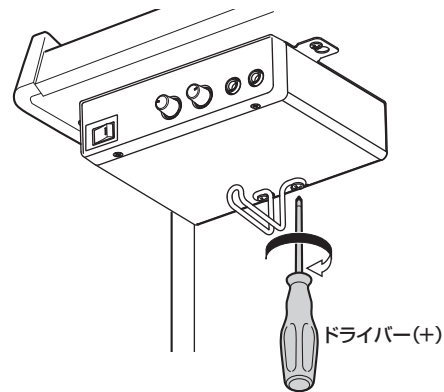
### ■ スイッチボックス



- 1 電源スイッチ (POWER)**  
電源をオン/オフします。
- 2 リバーブ調整ツマミ (REVERB)**  
リバーブの深さ (かかり具合) を調節します。
- 3 音量ツマミ (VOLUME)**  
ヘッドフォン端子からの出力の音量を調節します。
- 4 ヘッドフォン端子 (PHONES : 標準ジャック)**  
ヘッドフォンを接続します。2本まで同時に使えます。

## ヘッドホンハンガーの取り付け

必要に応じて、付属の取り付けネジ（2個）でスイッチボックス底面に取り付けてください。



## ACアダプターの接続

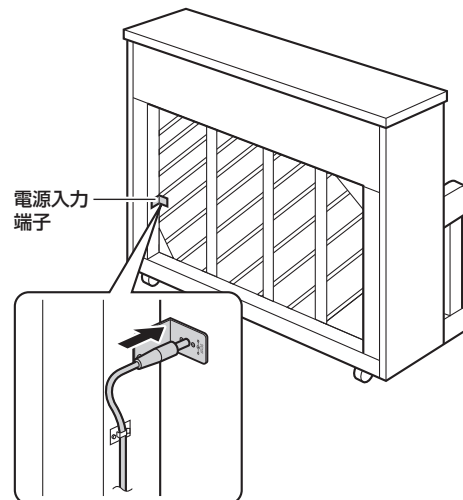
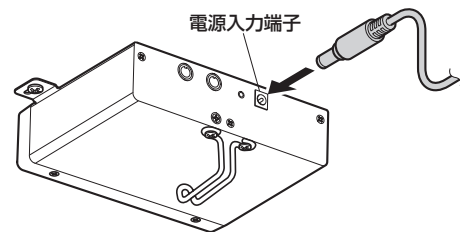
ACアダプターをスイッチボックス背面またはピアノ本体背面の電源入力端子に接続してください（電源入力端子の位置は、商品により異なります）。

### ⚠ 警告

ACアダプターは必ず付属のもの（PA-5DまたはPA-150）をご使用ください。指定以外のACアダプターを使用すると発熱や火災、または故障の原因になります。

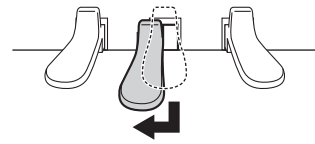
### ご注意

- ・コードを引っ張ったり、コードの根元部分を曲げたりしないでください。また、コードがピンと張った状態やコードの根元部分が曲がった状態で使用しないでください。断線の原因になります。
- ・ACアダプターを抜き差しするときは、必ず本体の電源を切ってから行ってください。
- ・本体を移動させるときは、ACアダプターをコンセントおよび本体から外してください。
- ・長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

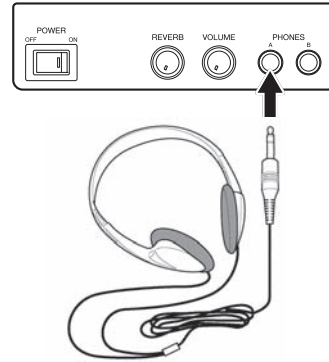


## 消音演奏をする

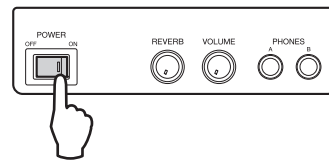
- 1** 消音ペダルを踏みながら左側にスライドさせます。  
ピアノの音が消えます。



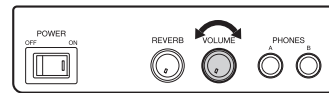
- 2** ヘッドフォン端子 (PHONES: 標準ジャック) にヘッドフォンを接続します。  
ヘッドフォンは2本同時に接続できますので、演奏をもう一人の方が確認したり、連弾したりすることも可能です。



- 3** 電源スイッチ (POWER) を押して電源を入れます。  
緑色のランプが点灯します。



- 4** 音量つまみ (VOLUME) を回して音量を調節します。  
右に回すと音量は大きく、左に回すと小さくなります。実際に鍵盤を弾きながら音量を調節してください。

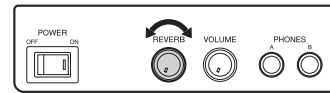


### ご注意

- ・ 消音演奏時でもアコースティックピアノ特有の打鍵音は残ります。
- ・ 耳の保護のため、音量の上げすぎにはご注意ください。また長時間の使用は避けてください。
- ・ ヘッドフォンのケーブルを無理に引っ張ったり、プラグに極端な力を加えたりしないでください。ヘッドフォンが破損して、音が正しく出力されない原因になります。

## リバーブをかける

リバーブとは、音に残響をつけて音の響きを豊かにすることです。リバーブの深さ（かかり具合）をリバーブ調整ツマミ（REVERB）で調節します。オフにしたい場合はツマミを左一杯まで絞ってください。

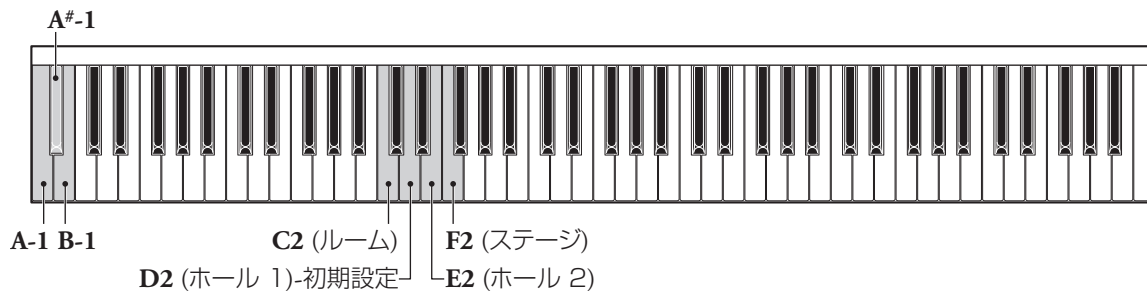


リバーブの種類を選ぶこともできます。

リバーブの種類	効果	設定方法
ルーム	響きやすい部屋の中で弾いたときのような音	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら C2 を押す。
ホール 1 (初期設定)	小さなコンサートホールにいるような響き	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら D2 を押す。
ホール 2	大きなコンサートホールにいるような響き	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら E2 を押す。
ステージ	ステージにいるような響き	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら F2 を押す。

### メモ

リバーブの種類の設定は電源を切ると解除され、次に電源を入れたときはホール 1 に戻ります。



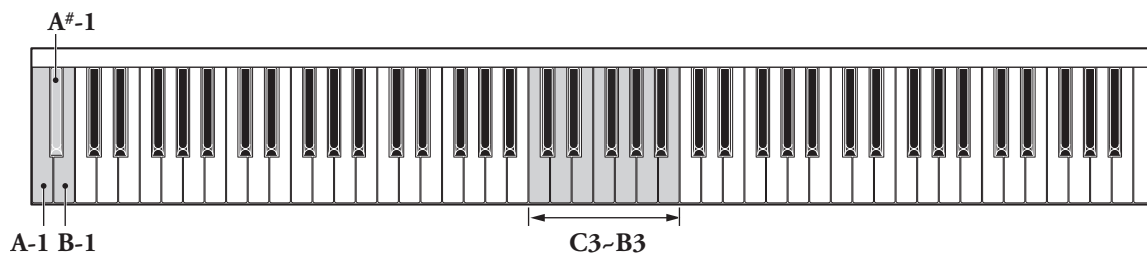
## ピッチを合わせる

本機の工場出荷時のピッチ（音程）は、一般的な標準ピッチのA3=440ヘルツに設定されています。声楽や他の楽器と合わせるときなど、あえてピッチを変更する場合は、半音を 100 セントとして上下 65 セントまで、1 セント単位で調整することが出来ます。

操作	設定方法
ピッチを上げる	A-1 と B-1 を押しながら、C3 から B3 までのいずれかの鍵盤を押す。
ピッチを下げる	A-1 と A#-1 を押しながら、C3 から B3 までのいずれかの鍵盤を押す。
工場出荷時のピッチに戻す	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら、C3 から B3 までのいずれかの鍵盤を押す。

### メモ

ピッチの設定は、電源を切っても保存されます。



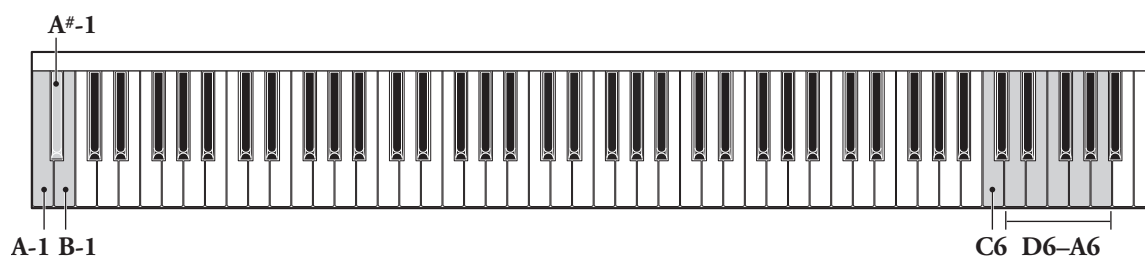
## DDE (ダイナミック・ダンパー・エフェクト) をかける

DDE (ダイナミック・ダンパー・エフェクト) とは、アコースティックピアノのダンパーペダルを踏んだときのような共鳴効果のことです。

操作	設定方法
DDE をオフにする	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら C6 を押す。
DDE をオンにする (5段階可変)	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら、D6、E6、F6、G6、A6 いずれかの鍵盤を押す。 (効果は A6 が最も深く、D6 が最も浅くなります。初期設定は E6 です。)

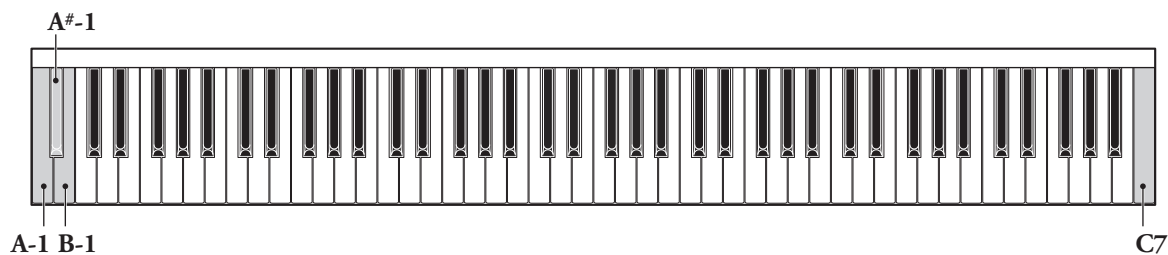
### メモ

- ・ DDE の設定は、電源を切っても保存されます。
- ・ DDE をオフにしても、ダンパーペダルを踏んだときのように音は伸びますが、共鳴効果はありません。



## すべての設定を工場出荷時の値に戻す (オールリセット)

すべての設定を、一度に工場出荷時の値に戻すこと (オールリセット) ができます。A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら C7 (いちばん右の白鍵) を約 1 秒間押し、一斉に鍵盤を戻します。リバーブの種類、ピッチ、DDE の設定が工場出荷時の値に戻ります。





## 故障かな？と思ったら

本機が正常に動作しない場合は、以下の項目をご確認ください。下記を試しても改善されなかったり、下記以外の異常がある場合は、お買い上げ店または最寄のヤマハ特約楽器店までご連絡ください。ご自分で本機およびACアダプターの内部を開けたり、分解、改造したりしないでください。

### 電源を入れても音がしない。

- － ACアダプターが抜けているかもしれません。確実に差し込んでください。
- － 音量ツマミが左一杯の位置になっているかもしれません。適正位置に調整してください。標準音量は、音量ツマミが時計の3時の位置になるように設定されています。

### 電源ランプはつくが音が出ない、ペダルがきかない。

- － スイッチボックス背面にあるキーセンサーとペダルセンサー端子の接続が抜けているかもしれません。スイッチボックス下側の印字 (KEY、PDL) にそれぞれ対応する端子 (KEY、PDL) を確実に差し込んでください。

### 消音演奏時にもアコースティックピアノの音が出る。

- － 極度に強く打鍵するとアコースティックピアノの音が出ることがあります。打鍵の強さを加減してください。

### 市販のヘッドフォンで聴くと音のバランスが異なる。

- － ヘッドフォンの種類によってそれぞれ特性が異なるため、ヘッドフォンによってはバランスが異なることがあります。

### 市販のヘッドフォンで聴くと音量が異なる。

- － ヘッドフォンの種類によってそれぞれ特性が異なるため、ヘッドフォンによっては音量が異なることがあります。

### 消音演奏時にピアノの本体からカタカタという音がする。

- － 故障ではありません。アコースティックピアノ本来の打鍵音です。

### 消音演奏の連打時に演奏と異なる強音が発音する。

- － サイレントピアノの構造上発生する場合があります、故障ではありません。

### リバーブがかからない。

- － リバーブ深さツマミが、左一杯の位置になっているかもしれません。適度な深さに設定してください (7 ページ)。

### 音が残りすぎる。(残響がかかりすぎる。)

- － リバーブ設定、DDE設定が深すぎるかもしれません。適度な深さに設定してください (7、8 ページ)。

### 他の楽器とピッチが合わない。

- － 本機はピッチを調整して他の楽器に合わせることができます (7 ページ)。

## 仕様

鍵盤	88 鍵
ペダル	ソフトペダル、消音ペダル、ダンパーペダル
音色	ピアノ
最大同時発音数	ステレオサンプリング 32 音
センサーユニット	連続検出キーセンサー 連続検出ダンパーペダルセンサー ON/OFF 検出ソフトペダルセンサー
コントロール・機能	電源スイッチ、音量ツマミ、リバーブ深さツマミ リバーブ種類切り替え (4 種類)、ピッチ調整 DDE 調整 (ダンパーペダル共鳴)、オールリセット
端子	ヘッドフォン端子 (標準ジャック × 2)、電源入力端子
定格電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	6W (DC12V)
付属品	AC アダプター (PA-5D または PA-150)、ヘッドフォン、ヘッドフォンハンガー、ヘッドフォンハンガー取り付けネジ、取扱説明書、保証書

本機にはMIDI端子、AUX端子がありません。

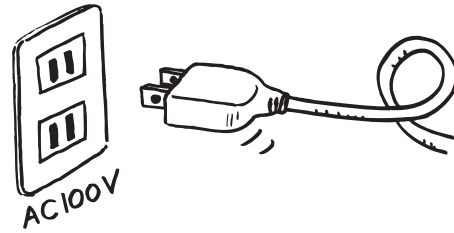
そのため、MIDI端子やAUX端子を利用する外部機器とは接続できません。

## 取り扱いについて

ここに記載されているイラストは、お客様が購入された製品と形状が異なる場合があります。

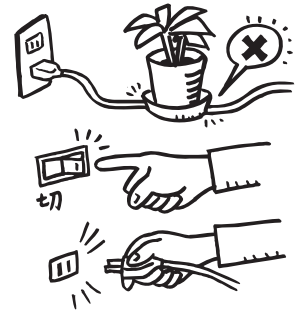
### ■ 電源について

必ず AC100V (50Hz または 60Hz) のコンセントに接続してください。AC100V 以外のコンセントには接続しないでください (本機は日本国内仕様です)。長期間ご使用にならないときは、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。



### ■ AC アダプター、ヘッドフォンのコードについて

コードの上に物を置いたり、ピアノのふたに挟みこんだりしないでください。コードを抜き差しするときは、必ず電源を切ってください。コードを抜くときは、断線やショートを防ぐため、必ずプラグを持って行ってください。



### ■ 落雷のおそれがあるときは？

早めにコンセントから AC アダプターの電源プラグを抜き取ってください。



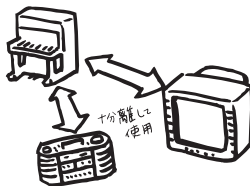
### ■ 水に濡れたときは？

万一雨が降ったり、水をこぼしてしまったときは、すぐ電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。また、煙やスプレーなどがかからないよう、ご注意ください。



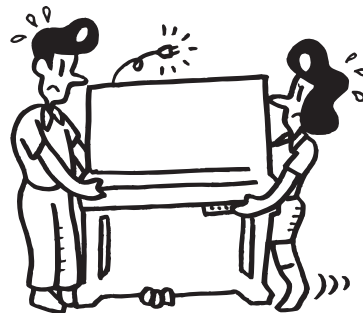
### ■ 他の電気機器への影響は？

本機の近くでラジオ・テレビなどを同時に使用すると、ラジオ・テレビ側で雑音などが生じることがあります。十分離してご使用ください。



### ■ 移動するときは？

AC アダプター、コードをすべて外してから移動します。ピアノの運搬・移動は専門の業者に依頼することをおすすめします。



### ■ 故障かな？と思ったら

AC アダプターがきちんと接続されていないか、意外なところで操作を誤っている場合があります。本書 9 ページ「故障かな？と思ったら」をご参照ください。



## 保証とサービスについて

本機の保証期間は、保証書に記入されたお買い上げの日付から1ヵ年です（現金、ローン、月賦などによる区別はございません）。また保証は、日本国内にてのみ有効といたします。

### 保証書

保証書をお受け取りのときは、お客様のご住所、お名前、お買い上げの年月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効となりますので、くれぐれもご注意ください。

### 保証書は大切に保管しましょう

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客様に、保証規定に則り、お買い上げの日から向こう1ヵ年の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくこととなります。いつでもご提示いただけますように、十分ご配慮のうえで保管してください。また、後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認などにも役立ちます。保証期間が切れましても、お捨てにならないでください。

### 保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡いただきますと、技術者が修理・調整いたします。この際、必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合には、サービス料金をいただく場合もあります。また、お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいはヤマハにご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行うよう手続きいたします。

満1ヵ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料になりますが、引き続き責任をもってサービスさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。そのほかご不明な点などございましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせください。

### 本機についてのお問い合わせは、最寄りのヤマハピアノ特約店／下記のヤマハへ

#### ◇ピアノの機能や取り扱いについてのお問い合わせ

最寄りの特約楽器店、または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター ピアノご相談窓口

ナビダイヤル  **0570-003-808**  
(全国共通番号) ※一般電話、公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号へおかけください。  
TEL 053-460-4835

営業時間 月～金 10:00～18:00 / 土 10:00～17:00 (祝日およびセンター指定休日を除く)  
<http://www.yamaha.co.jp/support/>

#### ◇ピアノの修理についてのお問い合わせ

お買い上げ店、または下記ヤマハ修理ご相談センターへお問い合わせください。

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル  **0570-012-808**  
(全国共通番号) ※一般電話、公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号へおかけください。  
TEL 053-460-4830

営業時間 月～金 9:00～18:00 / 土 9:00～17:00 (祝日およびセンター指定休日を除く)

#### ◇その他、本機全般についてのお問い合わせ

ヤマハ株式会社 国内営業本部 鍵盤企画部 ピアノ企画グループ

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11  
TEL 03-5488-5442

※名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。



ヤマハ株式会社  
ピアノ事業部 営業部  
〒436-0038 静岡県掛川市領家1480